

田村市農業委員会農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況(最終公表)

○法人、団体等による推薦

令和8年9月18日現在

被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)					
No.	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	担当する区域	団体等の名称 及び代表者氏名	構成委員の 数	構成員の資 格	推薦する者の 性格を明らかに する事項	推薦理由	農業委員への 推薦
1	堀越 吉一	67	男	農業・太陽光発電電事業	昭和52年4月1日～令和6年1月5日:ソニー、(株)東北村田製作所開発部統括課長 令和6年1月6日～令和7年1月5日:(株)東北村田製作所生産技術部技術顧問 令和7年4月1日～:笹山行政区副区長	営農類型:水稲・露地野菜・施設野菜 主要な作目:米・きゅうり・トマト 耕作面積:150a	要田	要田地区行政区 代表区長 日向 遼三郎	203	要田地区に居住する者		主要作物、米、きゅうり、トマトで150a作付けしている。今後の地域の農地が活用され、次世代へ継承されることに取り組んでいます。稲作、トマトの栽培管理に携わり、現場の課題を肌で感じて、その経験を活かし担い手支援を考えている。 水稻育苗は共同で行っている。	推薦していない
2	大河原 正雄	61	男	農業	平成15年11月～令和3年3月:フクマン株式会社 令和3年4月～:農業	営農類型:水稲 主要な作目:米 耕作面積:300a	文珠	文珠行政区 区長 渡邊 有一 文珠地区 代表区長 橋本 充也	90人	文珠行政区内に居住する者	行政区長	・被推薦人は当該地域において、水稻耕作を生業として今後も継続する強い意思が認められる。 ・被推薦人は民間会社を退職以前から当該地域の農業(水稻)衰退化の改善を図るべく、自ら地元において「圃場の基盤整備事業」を計画し事業着手に向けて準備活動中である。 ・上記の活動実績は本件の募集内容に記載の職務内容及び資格に適性があると認められる。	推薦していない
3	荒井 義光	66	男	農業	昭和54年3月:田村高等学校卒業 昭和58年3月:大学卒業 昭和58年4月～令和8年3月:福島県職員、就農 平成28年4月～平成29年3月:芦沢3区農事組合長 令和5年4月～令和6年3月:芦沢3区農事組合長 令和7年4月:文化財審議委員 令和8年4月:露地ピーマン栽培開始、観光協会船引支部芦沢地区長	営農類型:水稲・露地野菜 主要な作目:米・ピーマン 耕作面積:55a	芦沢	芦沢地区農業振興会 会長 箭内 正彦 芦沢地区区長会 会長 柳沼 孝尚	47人	芦沢地区内の農業関係者等		荒井義光氏は、永年にわたり水稻を出荷する農業者であると共に福島県職員農業技師として専門知識と技能を有しており地域農業者へのアドバイスなども積極的に行っている。 また、農業関係団体の役職を務めるなど地元農業者の信頼も厚いことから、農地の利用の最適化等、農業委員会業務に大きく貢献できると考え推薦する。	推薦していない
4	矢吹 雄一	66	男	型枠大工・農業	昭和54年3月:小野高等学校卒業 昭和55年～:春山建工社、農業	営農類型:水稲・露地野菜 主要な作目:米・トマト・ナス・キュウリ 耕作面積:80a	門沢・永谷・柗山	門沢柗山永谷区農業委員推薦委員会 会長 宗像 保 副会長 大和田 和浩	4人	行政区長		農事組合長の経験もあり、多年にわたり農業にあたっていた実績を踏まえている。 また、熱意をもっている人物であるため、当組織の一致した判断により推薦いたします。	推薦していない
5	橋本 孝男	65	男	会社員	昭和54年3月:小野高等学校卒業 平成28年4月～令和元年3月:井堀区農事組合組合長	営農類型:水稲・露地野菜 主要な作目:米・ピーマン 耕作面積:73a	遠山沢・堀越	堀越区長会 代表区長 佐藤 正男 遠山沢区長 柳沼 智美	10人	行政区役員		橋本孝男氏は、堀越営農組合の組合長を務めるなど地元農業者の信頼も厚いことから、農地の利用の最適化等、農業委員会業務に大きく貢献できると考え推薦する。	推薦していない

田村市農業委員会農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況(最終公表)

○法人、団体等による推薦

令和8年9月18日現在

被推薦者(推薦を受けた者)							推薦者(推薦した者)						
No.	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	担当する区域	団体等の名称及び代表者氏名	構成委員の数	構成員の資格	推薦する者の性格を明らかにする事項	推薦理由	農業委員への推薦
6	松本 栄市	67	男	農業	昭和52年3月1日:岩瀬農業高等学校卒業 昭和52年4月1日～:農業経営 令和7年3月25日～:福島さくら農業協同組合総代	営農類型:水稻 主要な作目:米 耕作面積:40a	上移・中山・横道	上移行政区長 菊地 正男	156人	上移行政区内に居住する者		松本栄市氏は、農業に対し人一倍情熱を持ち、農業に関する様々な技術を取得しており、地域農業発展に寄与いたしております。温厚な人柄と強い責任感があり、地域活動や組織の役員としても信頼が厚く、地域農業のまとめ役として最適任であります。地域全体の課題を的確に捉え、公平公正な視点で農地利用最適化推進委員としての任務を遺憾なく発揮できるものと確信しております。以上の理由から、私は松本氏を農地利用最適化推進委員に推薦いたします。	推薦していない
7	伊藤 智広	67	男	自営業	昭和53年3月31日:岩瀬農業高等学校卒業 昭和60年4月1日～昭和62年3月31日:三和工業株式会社 平成24年4月1日:ライフサポート伊藤開業 平成29年3月1日～令和3年2月28日:移地区農事組合長会長	営農類型:水稻・露地野菜 主要な作目:米 耕作面積:25a	北移・南移	北移行政区長 門馬 秀樹	140人	北移行政区内に居住する者		伊藤智広氏は、様々な役職を務めており、地域からの信頼が厚く、前には代表農事組合長の経験もあり、農業についての知見も十分に有しております。また、北移地域の農業発展のために積極的に活動しており、今後も伊藤氏の経験や知識が非常に有益であります。以上のことから、農地利用最適化推進委員として適任である。	推薦していない
8	齋藤 英憲	52	男	農業	令和8年4月1日～:船引町認定農業者会副会長	営農類型:露地野菜・施設野菜 主要な作目:トマト・ネギ・ズッキーニ・ブロッコリー 耕作面積:426a	美山	美山地区代表区長 橋本 幸司	9人	行政区長・農事組合長		認定農業者として意欲的に農業経営を行うとともに、地域の農地利用集積や担い手への農地利用の最適化等の推進に適任であるため推薦する。	推薦していない
9	遠藤 義一	67	男	農業	昭和53年3月:岩瀬農業高等学校卒業 昭和53年4月:就農 令和3年9月～:畑中地区農地保全管理協議会会長 令和6年2月～:農地利用最適化推進委員	営農類型:水稻・露地野菜 主要な作目:米・サツマイモ 耕作面積:290a	菅谷	滝根地域行政区長会 会長 富塚 忠夫 副会長 郡司 敏弘	19人	行政区長		被推薦者は、長年地域において農業に従事し、令和3年9月から地区農地保全管理協議会会長を務めるなど、地域農業の実情等に精通しており、地元農業者の信頼も厚く、令和6年2月より農業委員会農地利用最適化推進委員として活動しており、農業委員会業務に大きく貢献できると考え推薦する。	推薦していない
10	博多 宏	66	男	農業	昭和53年3月:小野高等学校卒業 令和6年4月:就農 令和6年6月～:認定農業者	営農類型:水稻・その他 主要な作目:米・和牛 耕作面積:180a	広瀬	滝根地域行政区長会 会長 真幡 英徳 副会長 真幡 英徳	19人	行政区長		被推薦者は、米の作付けと和牛の育成など農業の拡大を図り、令和6年6月には認定農業者として農業に従事しており、地元農業者の信頼も厚いことから、農地利用の最適化等、農業委員会業務に大きく貢献できると考え推薦する。	推薦していない

田村市農業委員会農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況(最終公表)

○法人、団体等による推薦

令和8年9月18日現在

被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)					
No.	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	担当する区域	団体等の名称及び代表者氏名	構成委員の数	構成員の資格	推薦する者の性格を明らかにする事項	推薦理由	農業委員への推薦
11	会田 安次	64	男	農業	昭和54年3月:小野高等学校卒業 昭和59年4月～令和4年3月:田村市役所 令和4年4月:就農	営農類型:水稲・露地野菜 主要な作目:米・ニンニク 耕作面積:100a	神保	滝根地域行政区長会 会長 冨塚 忠夫 副会長 真幡 英徳	19人	行政区長		被推薦者は、長年地方公務員を務め地域の 実情等に精通しており、退職後は就農し地元 農業者の信頼も厚いことから、農地利用の最適 化等、農業委員会業務に大きく貢献できると 考え推薦する。	推薦して いない
12	松本 正男	51	男	農業	平成5年3月:双葉農業高校卒業 平成5年4月:就農 平成27年4月～:認定農業者	営農類型:水稲・施設野菜 主要な作目:米・キュウ リ・トマト 耕作面積:206a	古道	都路行政区長会 会長 佐久間 公司	12人	行政区長		松本正男氏は、長年の農業経験等から地域の 信頼も厚く、地域農業や農家情報に精通して おり、農地利用最適化推進委員として貢献 できると考え推薦する。	推薦して いない
13	吉田 勝行	64	男	農業	昭和51年3月:都路第二中学校卒業 平成27年4月:就農 平成28年2月:大槻営農組合庶務 令和2年4月:都路町認定農業者会副 会長	営農類型:水稲・その他 主要な作目:米・和牛繁 殖 耕作面積:850a	岩井沢	都路行政区長会 会長 佐久間 公司	12人	行政区長		吉田勝行氏は、長年の農業経験等から地域の 信頼も厚く、地域農業や農家情報に精通して おり、農地利用最適化推進委員として貢献 できると考え推薦する。	推薦して いない
14	白石 芳郎	67	男	士業	昭和49年4月～昭和59年4月:常葉町 機械化センター 昭和59年5月～平成17年2月:常葉町 役場 平成17年3月～平成30年2月:田村市 役所 平成30年3月～:行政書士	営農類型:水稲 主要な作目:米 耕作面積:60a	西向・久保	久保行政区 副区長 白石 利夫 常葉地域行政区長連合 会 副会長 石井 豊喜	74人	久保行政区 内に居住す る者		農業行政に精通している。	推薦して いない
15	箭内 光一	57	男	農業	昭和62年3月:田村高等学校卒業 昭和62年4月～令和8年3月:郵便局	営農類型:水稲・露地野菜 主要な作目:米・ピーマ ン 耕作面積:130a	船引	船引地区行政区長会 会長 上遠野 伸一 下里行政区長 箭内 真吉	9人	行政区長		被推薦者は、地域の状況や農業・農家事業に 精通しており、何事にも真面目に取り組んで います。その姿は地域の模範であり、農地利 用最適化推進委員に適しています。また、地 元農業者の信頼が厚いことから、農地の利用 の最適化など農業委員会業務に大きく貢献 できると考え、推薦します。	推薦して いない

田村市農業委員会農地利用最適化推進委員の推薦及び応募状況(最終公表)

○法人、団体等による推薦

令和8年9月18日現在

被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦した者)					
No.	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	担当する区域	団体等の名称 及び代表者氏名	構成委員の 数	構成員の資 格	推薦する者の 性格を明らかに する事項	推薦理由	農業委員への 推薦
16	渡邊 和雄	68	男	会社員	昭和51年3月:岩瀬農業高等学校卒業 昭和51年4月～:農業従事 昭和56年4月～:(有)佐々木商店 令和5年4月1日～令和7年3月31日: 新館行政区長	営農類型:水稻 主要な作目:米 耕作面積:42a	瀬川	瀬川地区区長会 代表区長 斎藤 博 新館行政区長 佐藤 一雄	4人	行政区長		渡邊和雄氏は、瀬川地区の新館区長を歴任されており、地域の事情に精通しておられます。人柄は穏やかで温厚であり、住民からの信頼も厚く、本職に適任であると考え推薦いたします。	推薦していない
17	佐久間 明男	65	男	農業	昭和56年4月1日～令和元年3月31日:田村市役所	営農類型:水稻 主要な作目:米 耕作面積:500a	上大越・早稲川	大越地域行政区長連合会 会長 佐久間 良一	11人	行政区長		佐久間明男氏は、長年にわたり米を出荷する認定農業者で、専門知識と技能を有し、地域農業者へのアドバイスなどを積極的に行っている。また、農業関係団体の役職を務めるなど地元農業者の信頼も厚いことから、農地の利用の最適化など農業委員会業務に大きく貢献できると考え、推薦する。	推薦していない
18	吉田 孝	65	男	農業	昭和56年4月1日～令和4年3月31日:田村市役所	営農類型:水稻 主要な作目:米 耕作面積:900a	下大越・牧野・栗出	大越地域行政区長連合会 会長 佐久間 良一	11人	行政区長		吉田孝氏は、長年にわたり米を出荷する認定農業者で、専門知識と技能を有し、地域農業者へのアドバイスなどを積極的に行っている。また、農業関係団体の役職を務めるなど地元農業者の信頼も厚いことから、農地の利用の最適化など農業委員会業務に大きく貢献できると考え、推薦する。	推薦していない
19	佐藤 政巳	63	男	農業	平成6年4月～令和8年2月:(株)北海興業	営農類型:水稻 主要な作目:米 耕作面積:220a	関本	関本行政区長 坪井 和一 常葉地区行政区長連合会 会長 白岩 芳郎	8人	行政区長・副区長・庶務・組長		次期区長候補者に決定しているので、人望は保証できる。農業においても、年々規模拡大中で、将来的にも安心して任せられる。	推薦していない
20	矢吹 勇	61	男	農業	昭和58年3月:船引高等学校卒業 平成23年3月～:新田作コーポレーション理事 平成23年4月～平成27年3月:消防団常葉地区隊第1分団長 令和6年2月～:農地利用最適化推進委員	営農類型:その他 主要な作目:葉タバコ 耕作面積:50a	常葉・山根	常葉地区行政区長連合会 会長 白石 芳郎 新田作行政区長 渡邊 義輝	15人	行政区長		被推薦者は、多年にわたり農業を営み、現在は認定農業者として専門知識や技能を有しており、地域農業者の中で模範的な立場で営農している。平成23年から農事組合法人新田作コーポレーション理事として地域農業の発展と振興に貢献しており、地元農業者の信頼も厚い人物である。地域の農業と農地に精通していることから、農地利用最適化推進委員の適格者であることから、今期に続いて推薦する。	推薦していない